

井原市教育委員会 4 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和3年4月14日(水)
2. 開 会 令和3年4月22日(木) 14時55分
3. 閉 会 令和3年4月22日(木) 16時48分
4. 会議の場所 503会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員 教 育 長 伊 藤 祐二郎  
教育長職務代理 藤 井 秀 彦  
委 員 奥 田 隆 夫  
委 員 佐 藤 和 代  
委 員 西 田 友 美

欠席委員 なし

6. 会議に出席した職員

唐木教育次長 成智生涯学習課長 高田文化課長、川上スポーツ課長  
米本学校教育課長補佐、亀田教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【議 案】

議案第14号 井原市指定重要文化財の指定について

【報 告】

報告第 3号 井原市教育委員会職員の人事異動について

報告第 4号 井原市教育委員会公印の管理に関する規則の一部を改正する  
規則について

報告第 5号 井原市教育委員会の規則で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に  
関する規則の制定について

報告第 6号 井原市教育委員会の規程で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に  
関する規程の制定について

報告第 7号 井原市教育委員会の要綱で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に  
関する要綱の制定について

報告第 8号 井原市ひとづくり推進本部設置要綱の一部を改正する要綱について

報告第 9号 井原市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱について

報告第10号 井原市芳井公民館芳井分館長の任命について

報告第11号 井原市高屋公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第12号 井原市稲倉公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第13号 井原市県主公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第14号 井原市野上公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第15号 井原市井原公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第16号 井原市出部公民館運営審議会委員の委嘱について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

・伊藤教育長が開会を宣言

それでは教育委員会4月定例会を開会いたします。4月の人事異動により、事務局の体制に変更がございましたので、異動のありました職員の自己紹介をさせていただきます。

— 異動のあった事務局職員 自己紹介 —

それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について、事務局から説明をお願いします。

【亀田教育総務課長補佐】前回3月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、議案第8号から第9号及び議案第13号は人事案件のため非公開といたします。以上です。

【伊藤教育長】事務局から報告のあったとおり承認することとしてよろしいか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】では、そのようにお願いします。

(3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意しておりますのでご覧いただきたいと思っております。

— 安藤広大氏の著書「リーダーの仮面」の一節を説明。次に、井原市第7次総合計画の学校教育に関わる基本施策とそれぞれの成果指標の到達状況等を説明。また、4月、5月の主な行事について説明 —

今の件について、何かありますか。

【佐藤委員】成人式の件で、非常事態宣言が発出される予定ですが、該当の地域からの受入は可能ですか。

【伊藤教育長】非常事態宣言がでた時に、どういうアナウンスをするのか考えておかないといけないのかなと思っています。その地域の人だけ出席を控えて下さいというのも言い難いと思っています。ただ、行ってもいいのだろうかと思う人もいると思

いますが、参加を不安に思う人がいれば、申し出て頂けるようにしたほうが良いのではないかと考えています。

#### (4) 議 事

##### 附議事項

##### 【議 案】

##### □議案第14号 井原市指定重要文化財の指定について

【伊藤教育長】それでは議事に移ります。まず、議案第14号井原市指定重要文化財の指定についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

【高田文化課長】それでは、議案第14号の説明を申し上げます。

##### — 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ご意見、ご質問はありませんか。

【奥田委員】烏頭八幡神社のタブノキ群落は、広範囲にわたるものですか。

【高田文化課長】神社を中心に囲むような形で神社所有の林がありますが、全部で18,953平方メートルあります。

【佐藤委員】どれくらい前から、ここにはタブノキがあったのですか。

【高田文化課長】もともとは赤松があったところですがそれが枯れて、そこへもともとあったタブノキが広がっていったものです。そこには、幹回りが3メートルある巨木もあり、それが広めていったのではないかと考えています。しっかりとした森として成長していったのは、この20年から30年位だと思われれます。

【佐藤委員】文化財に指定されると、伐採は自由にできないのですか。

【高田文化課長】そのとおりです。管理上で下草刈り程度であれば可能ですが、群落を構成するタブノキを切るとなると、自然災害を引き起こす原因になるとかの危険木にあたれば切ることができます。基本的には、木を切ることになると許可申請が必要になります。

【佐藤委員】群落の管理に関しても国や県から予算が下りるのですか。

【高田文化課長】市の指定文化財にあたりますので、原則、管理に関して補助は出ませんが、伐採などの所有者の負担に耐えられないものであれば市の補助金が2分の1出るようになります。

【伊藤教育長】他にないようですのでお諮りします。議案第14号については、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

##### — 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】ご異議ないようですので、議案第6号は原案どおり可決しました。

##### 【報 告】

##### □報告第3号 井原市教育委員会職員の人事異動について

- 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —
- 全会一致で承認 —

**□報告第4号 井原市教育委員会公印の管理に関する規則の一部を改正する規則について**

【伊藤教育長】次に、報告第4号井原市教育委員会公印の管理に関する規則の一部を改正する規則についてを議題とします。

事務局より説明をお願いします。

【唐木教育次長】それでは、報告第4号井原市教育委員会公印の管理に関する規則の一部を改正する規則について説明させていただきます。

- 議案読み上げ —

【伊藤教育長】特にご質問がないようですので、報告第4号についてはご承認いただけますでしょうか。

- 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第4号については、承認することといたしました。

**□報告第5号 井原市教育委員会の規則で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に関する規則の制定について**

**□報告第6号 井原市教育委員会の規程で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に関する規程の制定について**

**□報告第7号 井原市教育委員会の要綱で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に関する要綱の制定について**

【伊藤教育長】次に、報告第5号 井原市教育委員会の規則で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に関する規則の制定についてを議題とします。

事務局より説明をお願いします。

【唐木教育次長】それでは、井原市教育委員会の規則で定める申請書等の押印の義務付けの廃止に関する規則の制定について説明させていただきます。

- 議案読み上げ —

【伊藤教育長】続いて、報告第6号と報告第7号は内容が同様のものでもありますので続けて説明をお願いします。

【唐木教育次長】それでは、報告第6号と報告第7号の説明をさせていただきます。

- 議案読み上げ —

【伊藤教育長】報告第5号から第7号までは、それぞれ規則であったり規程であったり要綱であったりという違いはありますが、内容は全て押印廃止ということになります。

ご意見、ご質問はありませんか。

【藤井職務代理】これでどれだけ、省略できるのですか。

【唐木教育次長】申請される方から言いますと、押印する手間が省けることになります。

【藤井職務代理】押印を省くということは、サインだけではなくて、ゴム印やパソコンの印字も良いということですか。

【唐木教育次長】そのとおりです。ものによっては、署名を求めますが、押印がなくなりますので本人確認を徹底する必要があるということになります。

【佐藤委員】全く印鑑を押すところが無くなるわけではないんですか。

【唐木教育次長】様式を変えるものではなくて、様式そのものは残して印鑑が無くても書類は受領できることになります。

【佐藤委員】訂正印の扱いはどのようになるのですか。

【唐木教育次長】書類そのものに押印があるから、訂正印が有効と考えられますので、押印がないのであれば二重線で消して書き直すことでも可能だろうと考えております。

【伊藤教育長】他にご質問がないようですので、報告第5号から報告第7号についてはご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第5号から報告第7号については、承認することといたしました。

#### □報告第8号 井原市ひとつづくり推進本部設置要綱の一部を改正する要綱について

【伊藤教育長】次に、報告第8号井原市ひとつづくり推進本部設置要綱の一部を改正する要綱についてを議題とします。

事務局より説明をお願いします。

【成智生涯学習課長】それでは、報告第8号井原市ひとつづくり推進本部設置要綱の一部を改正する要綱について説明させていただきます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ご意見、ご質問はありませんか。

【伊藤教育長】特にご質問がないようですので、報告第8号についてはご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第8号については、承認することといたしました。

#### □報告第9号 井原市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

#### □報告第10号 井原市芳井公民館芳井分館長の任命について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

- 【報告第11号】井原市高屋公民館運営審議会委員の委嘱について
- 【報告第12号】井原市稲倉公民館運営審議会委員の委嘱について
- 【報告第13号】井原市県主公民館運営審議会委員の委嘱について
- 【報告第14号】井原市野上公民館運営審議会委員の委嘱について
- 【報告第15号】井原市井原公民館運営審議会委員の委嘱について
- 【報告第16号】井原市出部公民館運営審議会委員の委嘱について

- 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —
- 全会一致で承認 —

以上で議事は終了いたしました。

(5) その他

【伊藤教育長】 その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【奥田委員】 教員不足が全国的に報道されており、その中で35人学級が段階的に実施されることとなっておりますが、井原市の教員確保の現状はどのようになっていますか。

【米本学校教育課長補佐】 今年から2年生が定数35人ということになっていますが、小学校に関しては、穴が開いている学校はありません。ただ中学校は非常勤講師が5校で数名補充できていない現状があります。ただ加配的な配置なので、授業ができていない状況ではありません。少人数の教員が頑張って授業を回している状況です。県と連携しながら補充していこうとしているところですが、現時点で数名配置ができておりません。科目は、英語と理科です。

【伊藤教育長】 小学校は教科が無いので、比較的補充できやすいですが、中学校は教科がありますのでその辺の難しさはあります。育児休業の代員では、家庭科や美術などの科目が特に補充できにくい状況です。

【奥田委員】 教員採用試験の倍率が年によっては3倍を切っている状況があり、教員の魅力が薄れているのではと思います。人材確保の観点から働き方を考えて、働き甲斐があるというふうに持っていければ、若い世代の人でも先生という仕事が魅力ある仕事だと思って頂けるようになればと思います。

【米本学校教育課長補佐】 県からも働き方改革の指導もあり、教育委員会としても学校の方に特に残業時間の削減が目に見えて分かりやすいため、各学校園に出退勤の管理をしつかりして頂いて、残業時間を月45時間、年間360時間以内にするのを明記しておりますので、少しでも残業時間を減らして、良い働き方をするように指導しておりますので、いい面をPRしていくようにします。

【西田委員】 幼稚園を見て個人的に思うことですが、稲倉幼稚園が休園になり、青野幼稚園は3名の在園で2人は兄弟で2世帯になり、3名での幼稚園教育を考えたときに2世帯

でどちらかの家庭が休んだ場合に1人対先生になり、子どもとしても負担が大きいのではないかと考えています。小規模園で丁寧に見てもらえるメリットはあるのですが、あまりに少ないと子どももしんどい部分があるのではないかと感じる部分があるのと、同年代の子どもたちとの関わりと言う面で、今年度青野幼稚園は年少と年長のみで年長の子は1人で背負っていかねばいけない年長のプレッシャーがあり、しんどい面もあるのではないかと考えています。延長保育を6時までにしては入園児が増えるわけではなく、休園する所が出てきているところを見ると、保護者の求めているものと違うのではないかと感じます。幼稚園の存続を考えると子どもが来てくれることは有り難いのですが、このままで良いのかなと今年度が始まって思っています。

【伊藤教育長】幼稚園のほうも預かりの延長をしたり給食の回数を増やしたり、随分保育園化したと思います。しかし、中々これ以上となると保育園と幼稚園の差が無くなるのかなあと思います。ただ、保護者のニーズは長く預かってもらう、土曜日も預かってもらう、給食があつて弁当を作らなくて良いなどのそういったところが原因なのかなと思っています。そうすると中々幼稚園のほうへ希望する方が少なくなっているのは実際にあると思います。

【西田委員】保育園から小学校に入って、下に兄弟がいる場合は、登校班が一緒になるので幼稚園に入れば良いと思いますが、続けて保育園でそのまま通われるケースがあるということは、保護者としても園を変える負担があるのではないかと感じます。小さい時から保育園の先生と人間関係を作ってきていて、そこで新たに幼稚園の入園の準備や人間関係を作る保護者の負担が大きいのと、大勢で過ごしていたのに幼稚園に行くと友だちが少なくなるという子どもに対しての心配もあるのではと青野にいて思っています。

【伊藤教育長】今のことからいうと幼稚園を今の数だけあるのがいいのかという議論になります。

【西田委員】地域のことを思うと、幼稚園が無くなるのはさみしいと思うのですが、少ない人数でいるのが子どものためになるのかと思います。今後検討が必要なことだと思います。

【伊藤教育長】やはり統廃合ということですかね。

【西田委員】こども園か西江原幼児園のような形が理想かなと思いますが、現状は無理なので、まとめていかないと子どもの数も減っていますので、そうすると登園する時間や保護者の負担も増えるので、どちらが良いのか分かりませんが、小さい時から預けたい保護者の方が多いのが事実なので、3歳からというのは難しいと現状を見ていて思っています。

【佐藤委員】年長の子がおり、芳井幼稚園に行かしていますがこの学年は男の子だけで、保育園は温かい雰囲気があり、男の子も女の子もいて、幼稚園は男の子だけで、大勢いることのメリットがあると感じています。

【伊藤教育長】小規模化している幼稚園のなかで、統廃合も一つの選択肢だと思います。ただ地区的な話となりますと芳井などはどこと統合するのかという話となれば、難しい問

題だと思えます。

【佐藤委員】 保育園と幼稚園がくつつくことはあるのですか。

【伊藤教育長】 保育園は0歳児からおりますから、その保育園で給食が作れないといけませんので、統合するのであれば幼稚園が保育園側に行かないと成立しないと思えます。そうすると幼小の連携がし易い立地にある芳井幼稚園からすると、どうなのかということもあります。今年稲倉幼稚園が休園になったということも、きっかけとしていくべきなのかも思えます。ただ、稲倉幼稚園も園区に1人入園を希望される方がいて、どうしようかと検討されたのですが、最終的には近隣の園に行く決断をされました。確かに地元の園に行きたいと考える方もいらっしゃいますが、そのあたりが難しいところです。

【西田委員】 幼稚園が無くなれば良いとは思っていませんが、見ていると本当にこれで良いのかと思いましたので話をさせて頂きました。

【伊藤教育長】 言われるように、保護者のニーズを考えた時に幼稚園の入園者が増えるかという点、正直厳しいところがあると思えます。そうするといくつかまとめるしかないと思えます。今後このあたりが課題になってくると思えます。

【伊藤教育長】 他にないようですので、事務局から何かありますか。

【亀田教育総務課長補佐】 議事録ですが、本日の附議事項のうち、報告第3号、報告第9号から報告第16号は人事案件であるため、非公開の方向で作成させていただきます。なお、公開の可否については、次回定例会で承認をいただきたいと考えております。

- 各担当課長から教育委員会令和3年5月行事予定表により行事予定を説明 —
- 学校教育課から学校訪問の日程調整を依頼 —
- スポーツ課から東京2020オリンピック聖火リレーの概略を説明 —
- 5月定例会を5月27日、木曜日午後3時から開催することに決定 —

## (6) 閉 会

【伊藤教育長】 以上を持ちまして、4月定例会を閉会とします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。